

氏名	嵐末 憲子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	地域支援・ソーシャルケア・専門職連携				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1988年熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程、2000年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科、 現在：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科（博士課程）				
経歴	2003年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師、2012年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本介護福祉学会（査読委員）、日本保健医療福祉連携教育学会、日本日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	【電子書籍版】医療・福祉の質が高まる生活支援記録法 F-SOAIP 一多職種の実践を可視化する新しい経過記録一	共著	あり	中央法規出版；221	嵐末憲子、小嶋章吾	2021.2
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	特別連載 第2回 多機関多職種連携に多様な効果をもたらす生活支援記録法（F-SOAIP）言語聴覚士の実践	共著	なし	訪問リハビリテーション；10(1)；P60-67	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／矢作 満	2020.4
2	特別連載 第3回 自立支援型地域ケア会議での生活支援記録法（F-SOAIP）活用に向けた作業療法士の実践	共著	なし	訪問リハビリテーション；10(2)；P144-151	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／高橋暢介	2020.6
3	短期連載 6つの項目ですっきり整理生活支援記録法F-SOAIP 書き方・活かし方、第1回 生活支援記録法 [F-SOAIP] の書き方を学ぼう	共著	なし	おはよう21；31(9)；P44-46	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／編集部	2020.7
4	基礎講座 M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を学ぶ 第3回 M-GTAによる研究成果の応用例	共著	なし	介護福祉学；27(1)；P73-83	小嶋章吾・嵐末憲子	2020.8
5	短期連載 6つの項目ですっきり整理生活支援記録法F-SOAIP 書き方・活かし方、第2回 現場に学ぶ生活支援記録法の実践①	共著	なし	おはよう21；31(10)；P46-49	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／取材：特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館	2020.8
6	特別連載 第4回 多機関多職種連携に多様な効果をもたらす生活支援記録法（F-SOAIP）リハビリ職の経験を活かした施設長として	共著	なし	訪問リハビリテーション；10(3)；P226-231	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／外口恵	2020.8
7	短期連載 6つの項目ですっきり整理生活支援記録法F-SOAIP 書き方・活かし方、最終回 現場に学ぶ生活支援記録法の実践②	共著	なし	おはよう21；31(11)；P46-49	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／取材：社会福祉法人生活クラブ	2020.9
8	特別連載 第5回 訪問リハビリテーションの専門性向上と科学的介護の実践に向けた生活支援記録法（F-SOAIP）の導入と活用	共著	なし	訪問リハビリテーション；10(4)；P320-327	嵐末憲子、小嶋章吾（監修） ／松田和也	2020.10
9	DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践（第1回）	共著	なし	最新医療経営 PHASE3；436；P36-39	嵐末憲子、小嶋章吾	2020.11

10	視点 生活支援記録法 (F-SOAIP) で実践過程を可視化する ～デジタル化時代の実践・行政・教育・研究にイノベーションを～	共著	なし		月刊ケアマネジメント ; 31(11) ; P.50-56	嵐末憲子、小嶋章吾	2020.11
11	DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践 (第2回) 記録法を整理したことで本人や家族の課題や注意点の共有が促進	共著	なし		最新医療経営 PHASE3 ; 437 ; P.36-39	嵐末憲子、小嶋章吾 (監修) /取材: 老人保健施設かみつが	2020.12
12	特別座談会 生活支援記録法F-SOAIP オンライン座談会 今後の医療介護分野の課題と見通し～小川克巳参議院厚生労働委員長を囲んで～ (記録法の標準化とデータ化に向けてできること)	共著	なし		訪問リハビリテーション ; 10(5) ; P.412-420	小川克巳/小嶋章吾、嵐末憲子 (監修) / 矢作満、高橋暢介、外口恵、松田和也	2020.12
13	DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践 (第3回) 複雑な生活問題に寄り添う地域包括ケアとF-SOAIP、ACP	共著	なし		最新医療経営 PHASE3 ; 438 ; P.36-40	嵐末憲子、小嶋章吾 (監修) /中野智紀、大友崇義	2021.1
14	DX時代の地域共生社会をF-SOAIPで推進～行政による先駆的実践 第1回 重層的支援体制における情報連携・多職種協働に応える経過記録法 (F-SOAIP)	共著	なし		住民行政の窓 ; 490 ; P.32-44	小嶋章吾・嵐末憲子 (監修) / 斎藤正晃	2021.1
15	DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践 (第4回) 記録の活用によるサービスの質的・量的改善と介護の科学化への期待	共著	なし		最新医療経営 PHASE3 ; 440 ; P.36-39	小嶋章吾、嵐末憲子 (監修) / 松田和也	2021.2
16	DX時代の地域共生社会をF-SOAIPで推進～行政による先駆的実践 第2回 生活困窮者自立相談支援機関及び地域包括支援センターにおける実践過程の可視化と多職種多機関の情報連携	共著	なし		住民行政の窓 ; 491 ; P.4-16	小嶋章吾・嵐末憲子 (監修) / 高石麗理湖、星野智枝、立川正史	2021.2
17	DX時代の経過記録 F-SOAIPの解説と実践 (第5回) 医療ソーシャルワーカーとメンタルヘルスの相談員によるF-SOAIP導入の経過と成果	共著	なし		最新医療経営 PHASE3 ; 440 ; P.36-39	小嶋章吾、嵐末憲子 (監修) / 梶平幸子、中川美幸	2021.3
18	DX時代の地域共生社会をF-SOAIPで推進～行政による先駆的実践 第3回 自治体向け相談支援システムを基盤としたデータ利活用～マイクロからマクロレベルにおけるPDCAサイクルの促進	共著	なし		住民行政の窓 ; 492 ; P.4-15	嵐末憲子、小嶋章吾 (監修) / 櫻本和久、位田隆史	2021.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	(ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは何か? 一当事者の意思決定支援の在り方及びその実現のための生活支援記録法) 「ACP やコロナ禍の地域課題を F-SOAIP で見える化」	単著		とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会; 第16回 とちぎソーシャルケアサービス学会		○嵐末憲子	2020.9

2	介護現場に導入する記録用システム（経過記録）について 「多職種でデータ活用可能な生活支援記録法F-SOAIP搭載の提案」	共著	自由民主党政務調査会 「データヘルス推進特命委員会 データに基づく科学的介護・栄養等WG」	○ <u>嵩末憲子</u> 、小嶋章吾	2021.3
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		ICT・IPWに資する生活支援記録法によるマイクロ～マクロの革新的好循環モデル構築	研究代表者	2020.4～2021.3
2	日本医療研究開発機構（AMED）：認知症対応型AI・IoTシステム研究推進事業（総務省）		BPSD予測・予防により介護負担を軽減する認知症対応型AI・IoTサービスの開発と実装	研究分担者 (研究代表者：山口春保)	2020.4～2021.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	介護福祉概論	○	15	オンラインにて、執筆したテキストを用い、実践面や所属研究会の研究の成果を講義に還元した。	
2	ソーシャルワーク論Ⅰ		1	ソーシャルワーク演習Ⅱと連携し、「多職種の実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）の理解」をオンラインにて講義した。	
3	IPW論（大学院）		4	初回や発表会、最終の振り返りの他、「地域共生社会時代にIPWの実践過程を可視化する生活支援記録法（F-SOAIP）～ICT化による実践や研究でのデータ活用を期待して～」の講義を担当した。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ケアサービス演習	○	15	実習Ⅰにも有用となるよう内容を工夫する。認知症AIの共同研究者であるゲストを招聘し、教員や他学科学学生の参加も得た。履修者が40名以上となったが、目標が達成できるように務めた。	
2	IPW演習(2開講)	○	15	科目責任者として、IPW論での学びをふまえ、IPW実習に活かせるよう、IPW実習①で担当した4年生のオリへの参加を実現した。	
3	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	学生の学びが今後の演習・実習・実践に活かせるよう、リフレクションに留意した。	
4	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	学生（4名）が関心を高め、SW分野のテーマを探求できるよう、また多面的な理解ができるよう指導した。	
5	社会福祉専門演習Ⅰ		15	学生（4名）が関心を高め、SW分野のテーマを探求できるよう、また多面的な理解ができるよう、オンラインにて指導した。	
6	社会福祉専門演習Ⅱ		15	学生（4名）が関心や理解をもとに、SW分野のテーマを探求できるよう、また進路支援も併せてオンラインにて指導した。	
7	社会福祉専門演習Ⅲ		15	卒業研究を進める過程において、ソーシャルワーク演習や社会調査の学びを活用しながら、学生（5名）をオンラインにて指導した。	
8	社会福祉専門演習Ⅳ		15	卒業研究の論文執筆・プレゼンを通じ、ソーシャルワーク演習や卒業後に役立てられるよう、学生（5名）をオンラインにて指導した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		15	コロナ禍での学外実習後、オンラインにて科目責任者らと協力して、グループワークや実習報告会、実習報告書の指導を行った。	
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		15	学外実習を実施すべく「ソーシャルワークとケアワーク」「プロセスレコード」の講義を担当し、実習課題やレポートの指導を行った。	
3	ソーシャルワーク実習Ⅰ		75	学外実習15日分を学内実習としてオンラインにて、科目責任者らと共に、利用者や専門職へのインタビュー体験をプログラムとして実施。職場・職種習・ソーシャルワーク実習を意識できるよう留意した。	
(4) 論文指導					

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2020.4～2021.3	主指導	5名	副指導 非該当
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 2名
3	博士論文		主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	国際医療福祉大学大学院 博士前期課程「医療福祉面接記録法」（講師）	2020.5～2020.7	国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクールの科目「DX時代の効果的・効率的な経過記録法～F-SOAI Pの基礎と応用～」として同時開講し、希望者が自立的に研修講師を担えることを目途とした。		
2	IPW総合課程 「IPWにおけるリフレクションと葛藤」	2020.9	課程内でのグループ体験が少ない中での演習の展開に留意した。後の実習や現場にて、本内容が活用できるよう展開した。		
3	生活支援記録法（F-SOAI P）実践・教育研究所：F-SOAI P研究会（オンライン）	2020.12～	F-SOAI Pの導入者や教育者、研究者等を対象に、研究支援を目的として領域別に2回開催した。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	国際医療福祉大学大学院乃木坂スクール	国際医療福祉大学大学院	「#10 AI・IPW時代の 効果的・効率的な経過記録法～生活支援記録法（F-SOAI P）の基礎から応用～」全4回		2020.5～7
2	旭化成ホームズ F-SOAI P勉強会	旭化成ホームズ（株）シニアライフ研究所	社内対象「効果的・効率的な経過記録法～生活支援記録法（F-SOAI P）の基礎から応用～」、社外対象「やさしい手～生活支援記録法F-SOAI Pによる実践の可視化～」		2020.7～8
3	東京都足立区福祉事務所研修	東京都足立区福祉事務所	多職種の実践過程を可視化できる生活支援記録法 F-SOAI P～ミクロ・メゾ・マクロレベルでの好循環～		2020.9
4	東京都介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員研究協議会	記録のイノベーション～生活支援記録法 F-SOAI Pでケアマネジメントの根拠と実践を可視化・共有しよう～		2020.10
5	老人保健事業推進費等補助金 介護記録法の標準化調査研究事業 集合研修	日本能率協会総合研究所	介護記録のイノベーション～生活支援記録法 F-SOAI Pで科学的介護の根拠の見える化・情報共有・OJTのために～		2020.11
6	多可町役場職員への支援研修	多可町役場／（株）TKC地方公共団体事業部	生活支援記録法（F-SOAI P）フォローアップ研修		2020.12
7	春日部市地域包括支援センター職員研修	春日部市健康保険部介護保険課	生活支援記録法 F-SOAI P（E77・A76）研修会		2021.2
8	小金井市介護支援専門員研修	小金井市福祉保健部介護福祉課	「ケアマネジャーの実践過程を可視化する生活支援記録法 F-SOAI P」第1回「多様な効果を期待して」、第2回「実践力の向上と課題解決を目指して」		2021.2～3
9	那須塩原市福祉事務所研修	那須塩原市保健福祉部	多職種の実践過程を可視化する生活支援記録法F-SOAI P		2020.3
10	所沢市社会福祉協議会 地域福祉推進課 課内研修	所沢市社会福祉協議会	実践過程を可視化できる生活支援記録法F-SOAI P		2020.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	日本介護福祉学会		査読委員		2020.4～2021.3
2	とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会		企画委員		2020.4～2021.3
3	日本能率協会総合研究所		令和2年度 老人保健健康増進等事業「介護記録法の標準化調査研究事業」（研修講師・支援）		2020.11～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	放送大学BS531、ラジオ放送放（送大学教育振興会）		科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第2回「高齢期における心身の変化と対応－自助・互助を中心に」		3回／年
2	放送大学BS531、ラジオ放送放（送大学教育振興会）		科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第10回「要介護高齢者の生活支援－介護保険のサービス体系と展開、介護保険の利用とサービス体系」		3回／年

3	放送大学BS531、ラジオ放送放(送大学教育振興会)	科目『高齢期の生活変動と社会的方策』の第11回「要介護高齢者の生活支援－認知症と看取りを中心に」	3回/年	
4	下野新聞	『福祉,介護,医療 情報共有を支援』: 開発したF-SOAIP搭載の福祉相談支援システムのリリース記事が掲載された。	2020.6	
5	下野新聞	『アドバンス・ケア・プランニング・最期の意思決定支援方法を学ぶ』: F-SOAIPをテーマとして企画した「とちぎソーシャルケアの学会」が紹介された。	2020.9	
6	福祉新聞	『気付きを育み共生へ～新システムで情報連携』: 兵庫県多可町でのF-SOAIPを搭載した福祉相談支援システムの導入事例が紹介された。	2020.9	
7	夢ナビ	「ICT・AIにマッチ! 多職種実践を可視化するF-SOAIPとは」(講義)	2020.10	
8	シルバー新報	『エフソ・アイビーでイノベーションを～デジタル化時代の介護記録～』 『月刊ケアマネジメント』2020年11月号の寄稿論文の要約版として掲載。	2020.11	
9	シルバー新報	『科学的介護に向けて～小川 克巳(理学療法士) 参議院厚生労働委員長 参議院議員に聞く～』; 訪問リハビリテーションでの座談会を経て企画・インタビュー	2021.1	
10	シルバー新報・バリアフリー展合同ウェビナー	第6回『"記録"を変えれば、介護はもっと楽しくなる!』 2月より、オンデマンドでも配信。	2021.1	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	(株)TKC 地方公共団体事業部	行政を対象とした「福祉相談支援システム」へのF-SOAIP搭載および社会実装に協力した。	2020.4～2021.3
2	国際協力事業	韓国および中国の共同申請者	日本学術振興会 国際共同研究強化Bへの申請を通じ、これまでの研究成果について相互交流した。	2020.7～2021.3
3	地域貢献活動	旭化成ホームズ(株) シニアライフ研究所	オンラインでの研修やF-SOAIPの導入等を支援した。	2020.7～2021.3
4	地域貢献活動	兵庫県多可町	オンラインにてF-SOAIP導入後のOJTを実施した。	2020.11～2021.2
5	地域貢献活動	東京都品川区福祉部高齢者福祉課/三徳会在宅支援室	F-SOAIPのマニュアル発信等の支援	2020.12～2021.3
6	該当なし	自由民主党政務調査会 「データヘルス推進特命委員会 データに基づく科学的介護・栄養等WG」	科学的介護におけるLIFEと動態的データとして、実践過程や介入の質を分析できるF-SOAIPについてプレゼンを行う。	2021.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	I PW総合課程にて「I PWにおけるリフレクションと葛藤」を担当		2020.9
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携推進部会員		2020.4～2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会員		2020.4～2021.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	保健医療福祉科目担当者会より、教務運営部会と兼務		2020.4～2021.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室調整を担当		2020.4～2021.3
6	該当なし	研究シーズを提出。		2020.4
7	学生支援	1年次生学年担当		2020.4～2021.3
8	学科等における委員会等	カリキュラム検討ワーキング		2020.4～2021.3
9	大学広報活動	夢ナビにて講義		2020.7～2020.10
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			